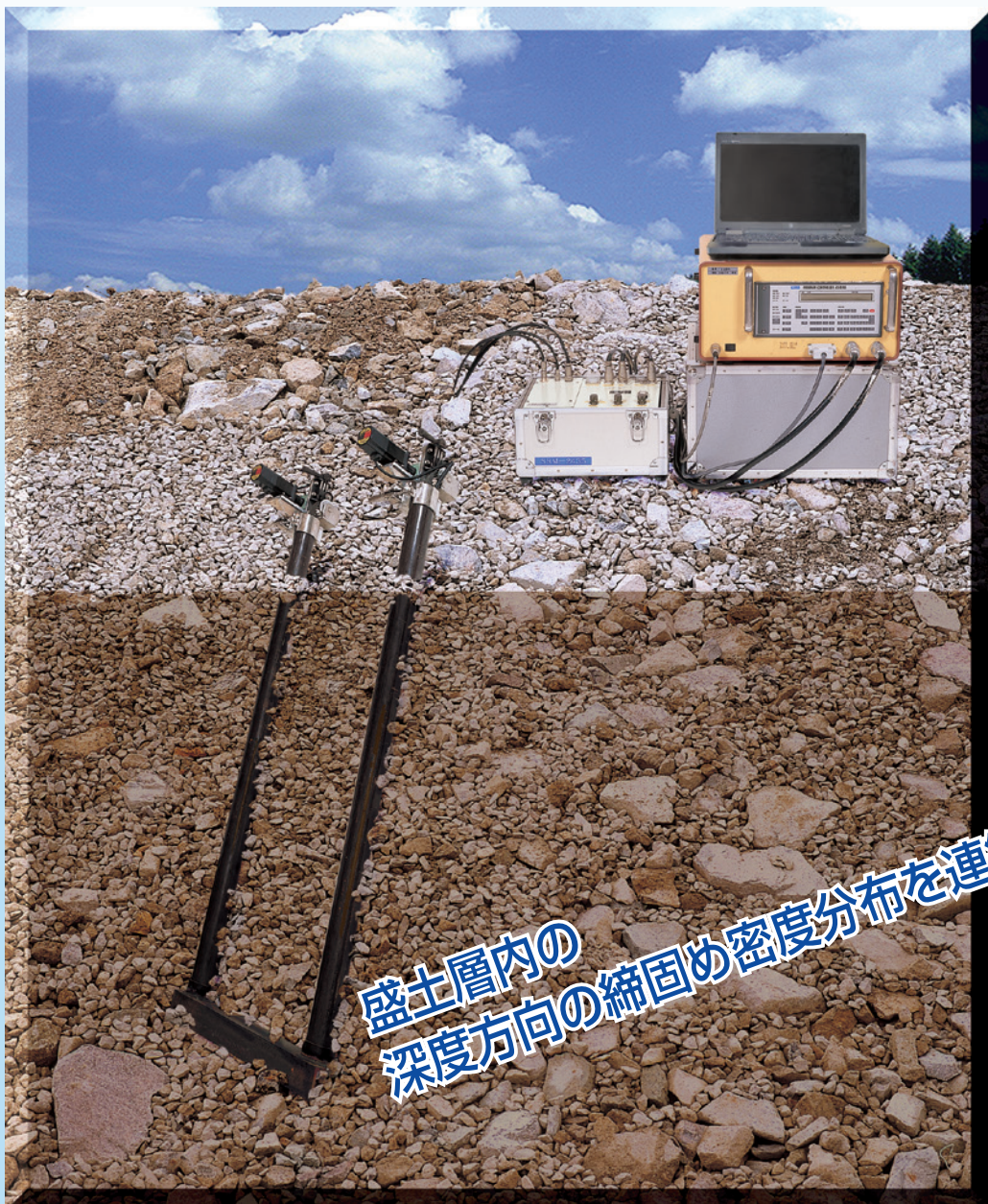


2孔式RI密度計

FRAME TYPE RADIO ISOTOPE DENSITY METER



盛土層内の
深度方向の締固め密度分布を連続測定

盛土層内の締固めエネルギーと転圧効果との関係の定量化に最適

2孔式RI密度計は、2本の導管フレームを盛土層内に45度の角度で平行に埋設し、一方の導管フレームにガンマ線源、他方の導管フレームにガンマ線検出器を挿入したフレーム型の2孔式測定法です。

測定は埋設した導管フレームの底部から線源と検出器の両者を同時に引き上げながら、フレーム間の深度方向の締固め密度を連続的に測定します。したがって、盛土施工（厚層化施工）に欠かせない盛土層内の締固めエネルギーと転圧効果との関係を定量化するのに最適です。

4大特長

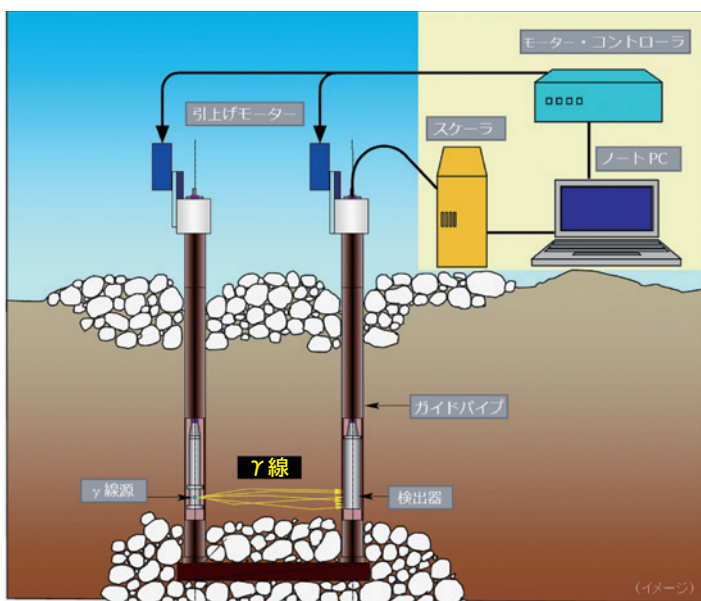
- 1) 2孔式により深度方向の連続測定を実現
- 2) 盛土層内の締固めエネルギーと転圧効果の関係を的確に定量化
- 3) ガンマ線の透過方式により正確なデータが測定可能
- 4) 礫が混在している材料に対しても測定可能

※地盤調査の方法と解説（社団法人 地盤工学会）
第9編 現場密度試験 第6章 RIIによる土の密度試験
6.5その他のRI計器として掲載されています。

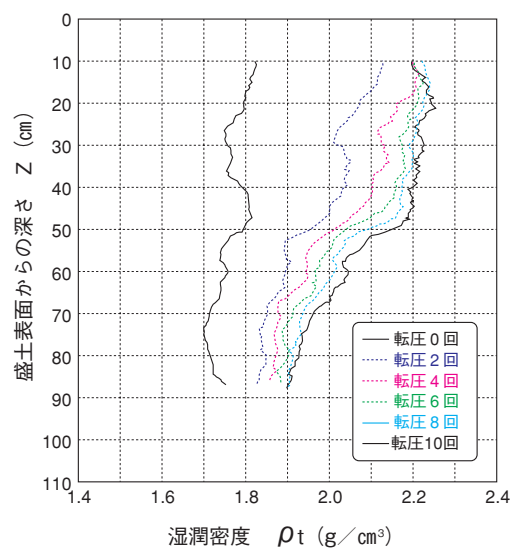
仕様

型式	SRD-PWF50
測定方式	γ線透過型
線源	コバルト60 (3.7メガベクレル <MBq>)
検出器	NaIシンチレーション検出器
透過距離 (導管軸距離)	50cm
校正密度領域	1.2~2.5 (g/cm ³)
測定方式	自動走査方式 (パソコン&パルスモーター)
走査速度	6cm/1分 (標準)
データ処理 (移動平均)距離	6cm
導管	STKM13A φ65, t4.0 シームレス (特別検査品)

計測状況



計測結果例



●このリーフレットの記載内容は2018年1月現在のものです。●製品仕様は変更となることがありますので御了承下さい。●印刷のため実物と多少色が異なる場合があります。